

## 特徴

エリアは大きく分けて2つある。No.1の「コンクリート・ジャングル」と呼ばれるエリアと、その上流のNo.2のエリアである。これは岩質による区分で、早川のボルダーは途中から岩質がガラリと変わる。No.2のエリアは三峰と同じつるつるした岩質だが、No.1は本当に砂利の詰まったコンクリートみたいな岩質で、なかなか他でお目にかかることがない小さな小石が沢山詰まった岩で、その小石がポロッと抜けたところがホールドになっている。慣れてくると、ワンパターンに感じるかもしれないが、実に珍しいボルダリングができて面白い。ただし、そういう岩質である以上、ホールドがポロッと取れることがあるので注意。また、増水で下地が変わる事も多い。

## 増水

とにかくこのエリアの問題は増水。正直な話、いつ増水しているのか傾向が掴めない。2~3日雨が降っていなくても、増水していることがある。しかも、増水している時は、ほとんど登れないと思ったほうがいい。雪解けと台風のアトが怪しい。なんとか情報を集めて、傾向を掴みたいと思っているので、行った人は日付け、その状況、2~3日前までの天候を記録しておいてほしい。西山発電所に電話するのも手かもしれない。

## 開拓状況

草野俊達氏と鈴木朗氏が中心となって開拓していたが、現在はほとんど訪れていないようだ。開拓といっても、手当たり次第に登っているだけなので、ハッキリこれとは決まっていない。図で示した課題以外にも無数に課題があって、主だったところはだいたい登られている。トポをまとめないと、いつまでたっても適当に登るとい状況なので、はやく記録をまとめないといかん、とは思っているのだが、トポをまとめる大変さも御理解願いたい。とりあえず、図以外の高難度の課題を登った場合は、日付けと課題の場所を記録しておいてもらいたい(できればネット上で発表してもらいたい)。

いずれにしても、まだ開拓途中といえるエリアなので、すぐトポをまとめる予定はない。みんなで登って開拓していくことにしよう。

## 交通

中央自動車道を甲府南 ICで下り、国道140号を市川大門方面へ。増穂町で左折し、国道52号を中富町方面へ。上沢の信号で右折し、早川町方面へ。あとはひたすら早川沿いに走り、西山発電所にいたる。甲府南 ICから、約1時間半。地図をまめにチェックしてほしい。

## シーズン

情報が少なく、シーズンについてはハッキリしたことはいえない。真冬は雪も積もるし、寒さがそうとう厳しく、無理なようだ。また、真夏もやたら暑かったり、水量が多くて登れないことが多いようだ。実際6月に行って、まったく登れなかったことも2度ほどある。雪解けと台風のシーズンは良くないらしい。

## キャンプと買い物

食料が買えるところが全然ないので、あらかじめ買い物はしておいたほうがいい。買い物に行く場合は、先に行けば行くほど店がなくなるので、中富町あたりまで戻るのが賢明。

キャンプに適したところも全然ない。多くの場合、西山温泉の先の道の脇の寺(神社?)の駐車場にテントを張っているが、いい場所ではない。テントは張りっぱなしにできないし、夜も車がうるさい。

## 他のエリア

早川はここで紹介したもの以外にも、上流、下流に無数のボルダーがある。開拓はちっとも進んでいないが、まだまだこれから幾らでも開拓できる。

広河原は、早川をどん詰まりまでいったところにある野呂川の河原のボルダー。しかし、行ったことのある人なら知っていると思うが、道が悪路である上、なんだか恐ろしい。夜叉神峠から行く道も恐ろしい。

ボルダーは多数あるが、アプローチの悪さと、あまりの殺風景さで人気がない。開拓もちっとも進んでいない。しかし、一人でやっているのが寂しいが、数人で行けばそれなりに楽しめる。早川と同様に増水する。

(窪井登喜男)